

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	外国語学部	スペイン語	学科 専攻
派遣先大学 (国)	サラマンカ大学 (スペイン)		
所属プログラム・ 学部・研究科	Cursos Internacionales		
報告書提出日	2019年9月30日		
留学予定期間	2019年8月～2020年6月		

1. 渡航について

1.1. 出発前の準備

出願料・宿舍デポジット： () /合計
 航空券代： 130000 (円) /合計
 ビザ申請関連費： 0 (円) /合計
 その他 ()： () /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

まず、出発の約2か月前に大使館へビザの申請をしに行きました。ビザ発行のために必要な書類は、査証申請書(これは大使館に直接行くか FAX で大使館のほうに連絡を取るかで入手可能です)、カラー写真で、背景は白の写真(4.5センチ×3.5センチ)、パスポートとコピー一部、入学許可証、海外旅行保険の証明書、経済能力を証明するもの(銀行通帳など)、航空券の予約確認書、健康診断書(1か月以内に発行されたもの)、無犯罪証明書、です。どれも入手するまで時間がかかったりするので、申請予定日から最低でも、1か月前から準備に取り掛かることをお勧めします。申請してから約1か月半後にビザを受け取ることができました。僕は申請したのも、ビザを受け取ったのも結構ギリギリだったので、何かトラブルや書類に欠陥があった時のために早め早めに行動に移すようにしてください。大使館も平日の12時半までしか開いていないので、注意してください。予約は特に必要ないです。

1.2. 渡航について

羽田空港からロンドン、ヒースロー空港経由でマドリード、バラハス空港へ向かいました。マドリードで3泊4日したのち、chamarín 駅からサラマンカまで renfe という電車で向かいました。その電車代は約40ユーロかかりました。最寄り駅から寮まで、歩いて40分かかりました。

2. 到着後の手続きについて

2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

寮費は日本にいたときに半年分支払っていたため、追加で払うことはなかったのですが、セメスターが終わってからその次のセメスターが始まるまでの間も寮に滞在する場合は、毎回追加で28ユーロくら

い払わなければなりませんでした。寮に到着後、洗濯機の使い方や共同部屋の場所を教えてもらい、鍵を渡されました。トイレトペーパーは言えばいつでももらえるのですが、バスタオル、足ふきマット、ドライヤー、シャンプーボディーソープなどはなかったのも、不便な点も多くありました。

2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

在留届を現地に到着してから 3 日後くらいに提出しました。とは言っても特別どこかに行く必要はなく、ネットからオンラインで行うことができます。検索したら普通に出てきました。何かトラブルがあった時のために早めに登録することをお勧めします。

2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

9月2日にプレイスメントテストがあり、1時間ほど行った後、その日中にクラス分けが発表され、patio de escuela というところまで見に行きました。その日はテストのみで翌日から授業がスタートしました。オリエンテーションは特にありません。cursos internacionales の場合、日本にいる間に授業を決めるので、特に履修登録をする必要はありませんでした。

3. 目標について

3.1. 留学の目的、達成目標

第一はスペイン語、英語をディテールまで理解できるようにすること、そしてリスニング力の強化。それだけでなく、様々な人種の人たちと交流をし、お互いの文化、特有の考えなどを共有し、これからの人生に役立つよう視野を広げる。最終的に DELE の B2 取得を目標に頑張ります。

3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

いろんな国の学生たちとともに授業を受けると、日本では見れないような光景を見ることが出来ます。例えば、アメリカ人たちは、自分がすごいスペイン語を話せるわけでもないのに、積極的に発言、質問をし、授業に「参加」しようとしている。方や日本人はそれを眺めている人のほうが多い。いくら語学力があっても彼らのような積極性がなければ、授業についていくことはできない、とこの1か月で感じました。

3.3. 今月の学習・研修目標

上でも書いた通り、僕は今まで参加している時間より眺めていた時間のほうが多かったので、正しいスペイン語を話せているかどうかは二の次に考え、自分の意見をスパン、といえるような積極性を身に着けたいです。

4. 学修について

4.1. 授業時間割

現在の学期	前学期
月	Legua Española(9～11) Conversación y Redacción(11～12) Prácticas de Destrezas Orales(12～13)
火	同

水	同
木	同
金	同
土	
日	

4.2. 授業について

①Lengua Española

この授業は特に文法を扱ってました。基本的にテキストが配られ、その問題を順に解いていくという流れでした。時々宿題も出ます。日本でのネイティブ講師の文法授業みたいなものでしたので、特に困ることはありませんでした。

②Conversación y Redacción

最初のほうは名詞の単語力を身に着けるためのプリントをたくさん行いました。後半はスペイン語の映画を観るなど、リスニング力を向上させるためのことを行ってました。難しい単語がたくさん出てきて、理解するのがやっとの状態でした

③Prácticas de Destrezas Orales

この授業では、リスニングテストの練習をたくさん行いました。そのほかには、一つの話題について皆でディベートを行い、とにかく喋る、聞くための授業でした。

4.3. 予習・復習・自習について

毎日毎日それぞれの授業で知らない単語、初めて聞く単語が 10~20 は普通に出てきました。どの授業においても単語力がなければ話にならないと思い、その日出てきた単語を、授業中にメモをし、帰ってから意味を調べ、ひたすら繰り返し唱えることをやっていました。最初の 1 か月でしたのでそれぞれの授業にそれぞれ予習、復習はしませんでした。

5. 生活について

5.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他： ）
<p>ご飯抜きにしたので、全部自分で何とかしてましたが、やはり栄養の偏った食事をしてしまっています。朝は食べてすらいません。台所が使えなく、使用可能なのは電子レンジと湯沸かし器のみなので、昼と夜は大体外食でした。次行くかたには少し高いですが、ご飯ありのプランを選択することをお勧めします。Wi-fi 環境は素晴らしいです。寮内でのトラブルは特にありません。</p>	

5.2. 課外活動について

休日、授業後は基本的に他の留学生たちとサッカーをしています。セメスターが終わった後は旅行なども考えています。

5.3. 現在までの感想

まずアメリカ人のスペイン語は英語なまりがすごすぎて正直何言っているのか全く分かりません。思わず英語で話しかけてしまうほど。でも聞き続けていくうちにやはり耳は慣れてくるもので、今で何となくスペイン語で会話できるようになりました。

食料面に関しては油断していると店が早く閉まったり、日曜だとどこも全く開いてなかったりするのでそこだけ注意しています。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（11月）

所属	外国語学部	スペイン語	学科 専攻
派遣先大学 (国)	サラマンカ大学 (スペイン)		
所属プログラム・ 学部・研究科	Cursos Internacionales		
報告書提出日	2019年11月30日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

帰国後の DELEB2 の合格を目指す。留学することでしか得られない経験をし、スペイン人だけでなく、様々な国の友人を作って自分の物事に対する価値観を見直す。また視野を広げる。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

相手が話していることの主な内容は聞き取れるようになってきたので、自分から深い内容の話を切り出せるように、日常生活以外で使われる単語、フレーズを自主的に学び始めました。しかし一度難しすぎる内容に手を出してしまい、自分が言いたいことを伝えることができても相手が何を言っているのかわからなくなってしまったことがありました。自分のレベルを自分自身でしっかり理解し、それに応じた内容を選択しなければならないと感じました。

1.3. 今月の学習・研修目標

数値化できるものは思いつきませんが、インテルカンピオという毎回木曜日に開催されている、日本人学生と日本語を勉強している現地の学生が交流できる機会があるので、今月から毎回それに参加し、授業以外に定期的にスペイン語を使う回数を増やしたいと思います。

2. 学修について

2.1. 授業について

Lengua Española

基本的に文法のみ授業です。日本の大学で行われているネイティブの方の授業と何ら変わりはないです。現在は接続法と直接法の使いわけの仕方について重点的に行われています。講師の方が軽く説明した後、すぐにプリントを使ってひたすら練習問題を解いていく、というようなかたちです。

Conversación

この授業はひたすら話します。授業の初めに先生が何かしらのテーマを決めて、それについて皆で意見を出し合ったり、それぞれの国でのとらえ方を話し合ったりします。順番に一人ずつ意見を述べるわけ

ではないので、気を抜いてしまうと置いて行かれてしまいます。

Prácticas de Destrezas Orales

Conversación とやることはほぼ変わらないです。プリントなども使わずにひたすら話し続ける授業です。ただ月に一回自分の好きなテーマについてパワーポイントを作成し、5分～10分程度で発表する機会があります。

2.2. 予習・復習・自習について

予習復習は科目ごとに分けては行ってないです。まだ語学学校の段階なので、授業中にわからなかった単語、理解できなかったフレーズなどは必ずメモを取り、寮に帰ってから繰り返し声に出して読み、ひたすら書くようにしています。またそれらの単語、フレーズなどを使う機会があったら間違いを恐れず使うようにしています。

2.3. 語学力について

日常生活はもう全く支障はありませんが、未だに日本語に訳してしまう癖があるので、時々会話が止まってしまうたり、スペイン語と日本語がごっちゃになってしまうことがあります。2月から学部にも所属することになっているので、今のうちから専門用語などを少しずつ勉強し始めたいと思います。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他： ）
----	------------

2か月前と変わらず、食に関しては外食か総菜を買ってきて部屋で食べるかのどちらかです。11月初旬から暖房がついたのですが、正直暑すぎて窓を閉め切ってしまうと夜も眠れません。

3.2. 課外活動について

放課後は基本的にサッカーをして体を動かしています。毎週火曜、金曜に学生たちで集まってサッカーをする機会があるので、毎週行っています。周りの人たちもほぼ経験者ばかりなので、全くサッカーをやったことがない人にとってはキツイかもしれないです。

3.3. 現在までの感想

最近、語学の心配は徐々になくなってきましたが、就活に関しては徐々に心配が増してきています。まだ何も動いていない状況なので、去年留学された先輩方に話を聞かせていただこうと思います。

以上

神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	外国語学部	学科	スペイン語学科	3 年次
派遣先大学 (国)	サラマンカ大学 (スペイン)			
所属プログラム・ 学部・研究科	Cursos Internacionales Filología	履修言語	スペイン語	
留学期間	2019年8月～2020年3月			
報告書提出日	2020年5月6日			

1. 学修について

1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録までの過程
Primer Semestre	9月2日 ～1月28日 (17週)	9月26日 ～9月27日 12月3日 ～12月10日 1月25日 ～1月26日	履修は日本にいる間、つまり現地に来る前に行いました。どのセメスターも3つずつ授業を履修するつもりでいたため、文法の授業を中心に興味が湧いたものを選びました。実際文法以外の授業に関しては、深く考えずに履修しました。シラバスも見なかったです。
Segundo Semestre	1月27日 ～3月14日 (7週)	受けずに帰国	言語学の学部に入ったので、スペイン語以外にも挑戦しようと思い、韓国語を履修しました。他に日本人類学と言語学の授業。最初の説明会の時に履修登録書を渡されるので、履修を希望する授業を書き、コーディネーターの方にサインを貰った後学部のオフィスに提出しに行きました。

1.2. 履修科目・内容

学期	履修科目名	合計時間 (内訳)	履修内容・授業での取り組み
Primer Semestre	Lengua Española	170時間 2(時間/回) × 5(回/週)	基本的な文法の授業で、1日に2時間、毎日あります。1番初めのプレースメントテストの結果によってレベルごとにクラス分けされます。クラスメイトはアメリカ、中国、台湾の方がほとんどでした。内容は日本の大学で行われているような

		× 17(週)	ネイティブの方の授業と何ら変わりありません。ただし、知らない単語が毎日必ず 10 個以上出てきて、試験にも出されるので、メモすることを忘れずに。その試験自体も授業の内容を大まかに把握していれば、難しくはないです。
Primer Semestre	Conversación y Redacción	85 時間	この授業は会話と作文の授業なのですが、作文自体は試験の時にしか行われませんでした。ですので基本的に講師の方が話し、それに対して意見を生徒同士で出し合うといった内容でした。周りのレベルが高いので初めはついていくのにやっとなりましたが、回数を重ねるうちに慣れていきました。試験は作文とパワーポイントを作って発表するというものでした。
		1(時間/回) × 5(回/週) × 17(週)	
Primer Semestre	Prácticas de Destrezas Orales	85 時間	この授業はオーラルを練習する授業でした。内容自体は Conversación y Redacción に似ていたのですが、話す内容や行うことはこちらの授業のほうが易しかったです。たまにスペイン語のことわざのようなものを習い板書したりしましたが、試験には全く関係ないものでした。成績はパワーポイントの発表によって付けられます。
		1(時間/回) × 5(回/週) × 17(週)	
Segundo Semestre	Coreano	28 時間	僕がとっていた韓国語の授業は基礎的なこと、例えば日常会話などから始まり、内容自体は難しくはなかったのですが、ハングルを読むことができるという前提があるので、韓国語に全く触れたことがなく、ハングルが読めない方が受けるには少し難しいかなと思います。授業の進行スピードが速いので、1 回でも休むと次の授業がなくなります。
		2(時間/回) × 2(回/週) × 7(週)	
Segundo Semestre	Lingüística	28 時間	この言語学の授業は、講師の方がひたすら話し、生徒が聞く、いわゆる講義形式で行われます。また参考資料などが配られ、それをみながら話を聞くといったシンプルな講義です。ただしスペイン人の学生がほとんどなので講師の方の話す速さも僕たち留学生のレベルに合わせてくれません。授業が始まった最初のあたりは速すぎて何を言っているのか全く分かりませんでした。内容面では、人間同士と動物同士のコミュニケーションの仕方の違いなどについてでした。
		2(時間/回) × 2(回/週) × 7(週)	
Segundo Semestre	Antropología de Japón	14 時間	これは日本の人類学についての授業です。講師の方も日本の方で、スペイン語と日本語の両方で説明してくれるので理解に苦しむことはありませんでした。授業形式は講師の方のパワーポイントをみて板書するといった感じでした。また少人数で行われるため、生徒間でのディベートの時間なども設けられました。
		2(時間/回) × 1(回/週) × 7(週)	

1.3 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

スペイン語の学修においては、授業内で知らない単語、熟語、専門的用語が毎日必ず出てくるので必ずメモに取り、意味を調べ、寮に帰ってから何回も読み返すようにしていました。語学学校ではほとんどの講師の方は次の授業でやることについて言及しなかったため、これといった予習はしませんでした。会話能力を向上させるために会話の授業だけではなく、授業外でのスペイン語話者とのコミュニティを広げ、スペイン語を使用する機会、回数を慣れるために増やしました。僕がいたサラマンカは特にレストランやバルに行っても英語が通じないので、最初のころは1人で行って、店員さんとの会話にチャレンジしたりもしました。

1.4 語学力について

留学前にスペイン語の勉強時間を増やしたかと言われたら、増やしませんでした。心のどこかであっちにつけば何とかかなると思っていましたが、実際に話してみたら聞き取りが想像以上にできなかったため、今思えばしっかりと留学前に基礎固めをしておくべきだったなと思います。また留学を通してDELEなどの試験も受けなかったため成果、上達を数字で出すことはできませんでしたが、会話能力、単語力は確実に伸びたと思います。また日が経ってくるとスペイン語を聞くこと自体に慣れてくるため、よく使われるフレーズなどは頭の中で日本語に訳さなくても理解できるようになっていきました。

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果

まず語学学校では、文法、会話、オーラルに分けられており、文法でスペイン語の基礎を固めた後に会話、リスニングの練習ができたので頭に入りやすかったです。また日本でスペイン語を学んでいた時とは異なり、スペイン語以外の余計な情報が入らなかったためスペイン語だけに集中できる環境でした。そのためスペイン語をある程度話せるようになるまで時間はあまりかかりませんでした。次は学部において。とは言っても3月にすぐ日本に帰ってこなければならなかったため、実際には1週間と少ししか授業を受けることができませんでした。しかし語学学校では体験できなかったスペイン人基準の授業を受けることができたのは貴重な経験になったと思います。最初は速すぎて聞き取れなかった専門用語なども1か月もすると結構慣れることができました。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

先ほどの通り、僕は授業の復習はしていましたが、予習はほとんどしませんでした。9月から12月のクラスはレベルがそこまで高いわけではなかったのですが、1月に入り、1番レベルが高いクラスに配属されると途端についていけなくなりました。授業自体のレベルが高いうえ、周りのレベルも高いので予習が必須だと感じました。確かに宿題以外次の授業でやることはほとんど言及されませんが、まとまったプリントを授業の初めに配られ、順々に進んでいくため、予測はできます。完璧な予習はできないにしても、わからない単語をあらかじめ調べておくなどをしないと完全に置いてきぼりにされてしまうので、僕みたいに変な余裕を持たないほうが良いと思います。

2.3. 留学生活で得られたもの

スペイン人だけではなく様々な国の学生とかかわることができるため、その国の出身の人にしかわからないことや考え方などを知ることができます。さらに他国のことを知ることで、母国である日本を客観的に見直すいい機会にもなりました。自分の考えも自分基準、日本基準から世界基準に変えることができたと思います。これはスペインに行かなければ絶対にわからないことでした。日本にいてもここまでいろいろな国出身の友人できなかったと思いますし、何より実際にスペインの土地を踏み、独自の文化、生活、彼らの人柄に触れたということが何よりの経験だと感じています。

2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス

やはり現地に着いた当初はそこでの生活に慣れるまで、現地の言語に慣れるまで、不安に感じてしまうものです。実際に僕も最初是一緒にいると安心感のある日本人とつるんでしまっていました。スペイン語を、スペイン人を避けていたわけではありませんでしたが、日本語をいつも通りに使ってしまったため、スペイン語に慣れるうえで1つの障害になってしまいました。当時の自分にも言い聞かせたことですが、いつも日本人と一緒にいると留学してきた意味が全くなってしまうので、積極的に話しかけて、とにかく早く慣れることに時間を使ったほうが良いと思います。ミスや馬鹿にしたり怒ったりする人などめったにいないので安心してください。あとと言っていることがわからなかった場合に、はいはい言うのが一番相手に対して失礼ですし、自分も相手も困ります。自分が嘘をついているかどうかなど雰囲気で一発で伝わってしまいます。特に講師の方に対してはわかるまでしつこく聞いてください。それに対して嫌がる講師はいないですし、むしろ僕が通っていた語学学校では、その積極性が評価されることが多かったです。せつかく高いお金を払ってもらい、留学に来ているわけで、そこでしか経験できないこと味わえないことが必ずあるので、時間を無駄にしないようにしてください。授業外のことに関して、スポーツなどをやりたいと思っている方は、留学生同士での集まりや現地学生が多い集まりなど必ず何かしらあるので、友達に聞くなどして参加してみてください。

派遣交換留学中の生活等に関する調査

記入日	2020年5月5日	
派遣先国	スペイン	
派遣先大学	サラマンカ大学	
留学先での所属学部	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等 学部名：(Filología) <input checked="" type="checkbox"/> 語学研修 <input type="checkbox"/> その他 ()	
本学での所属	外国語学部	スペイン語学科・専攻
学年	3年次 (留学開始時の学年)	
	3年次 (留学終了時の学年)	
留学期間	留学開始年月 2019年8月 ~ 留学終了年月 2020年3月	
	留学期間 8ヶ月間	

I. 留学先での住居について

1	住居形態は何でしたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
2	部屋の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋 (同居人数)
3	住居形態の詳細を教えてください。	(4坪あるかないかの一人部屋でした。)
4	入居時手続き	(まず半年分の費用は、語学学校のコースを登録するときに一括で払いました。半年以降は寮母さんと話して、手渡しで払いました。到着時は受付で鍵を受け取りました。)
5	費用 (月額)	(約4万)円
6	食費 (月額)	<input type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他()円
7	支払方法	(最初の半年はクレジットの一括、それ以降は現金)
8	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input type="checkbox"/> トイレ(共同) <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(個別) <input type="checkbox"/> シャワー(共同) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input type="checkbox"/> 台所 <input checked="" type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 ()
9	住居選択方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学に申込 <input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他()
10	周囲環境	(大型バスターミナルや大型スーパー、バルなども近くにあったので、利用しやすかったです。ただし、新幹線の駅までは徒歩で45分くらいかかりました。)
11	アクセス	(大学までは15分から20分くらいでした。ローカルバスも利用したことはありませんでした。)
12	留学中の住居に関してアドバイス	(アクセスに関して不便なことはありませんでした。しかし冷暖房などは自分で調節ができなかったり、台所の利用が禁止だったりするので、融通が利くホームステイのほうがいいのではないかと思います。あと忘れがちなことで足ふきマットはないので、持っていくか現地で購入かしてください)

II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参した
2	現地キャリアの携帯電話	現地でSIMカードを購入
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	(マドリードのorangeという携帯ショップへ行き、simを購入)
4	自宅のインターネット接続環境	無線 (大学または寮へのLAN接続)
5	大学内インターネット接続環境	無線 (大学または寮へのLAN接続)

III. 留学費用について

諸経費 (1ヶ月の平均)			
1	宿舍費	400 /月	備考 (ユーロ)
2	食費	250 /月	備考 (ユーロ)
3	交通費	なし /月	備考 ()
4	通信費	10 /月	備考 (ユーロ)
5	娯楽費	400 /月	備考 (ユーロ)
6	図書費	なし /月	備考 ()
7	学用品 (教科書など)	なし /月	備考 ()
8	被服費	30 /月	備考 (ユーロ)
9	医療費	20 /月	備考 (ユーロ)
10	雑費・その他	100 /月	備考 (ユーロ)
上記以外にかかった大きな金額の内訳 (留学準備期間含む)			
11	出願料・宿舍デポジット	30万 円/月	備考 ()
12	ビザ申請関連費	5千 円/月	備考 ()
13	航空券代 (休暇時旅行費用は除く)	20万 円/月	備考 ()
14	その他	円/月	備考 ()
15	留学全日程に要した総額 (概算)	130万 円/合計	
お金の持って行き方			
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 (渡航時: 13万 円) <input type="checkbox"/> 国際キャッシュカード (銀行名:) <input checked="" type="checkbox"/> 海外送金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカードからのキャッシング <input type="checkbox"/> その他 ()		
17	現地で銀行口座開設	した	
18	口座開設手続き方法・利点・欠点	引き出すときに手数料がかからない。銀行の医療保険を利用できる。	
19	お金に関するアドバイス (今後留学をする学生に対して)	僕は現金で13万円を持っていきましたが、余裕があれば20万円くらい持っていくことをおすすめします。あと換金について、スペイン現地でするとどこもレートが悪いので、行く前に日本で換金したほうがいいと思います。	

IV. 保険・医療について

1	海外旅行（留学）保険の種類	東京海上日動 B19 (10か月分で 111, 820 円)
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？	はい
3	海外旅行（留学）保険の適用を受けましたか？	受けなかった
4	適応されなかった理由はなんですか？	スペインで契約した保険を適用したため
5	日本から持参した方が良かったなと思う薬などはありますか？理由は何ですか？	特になし

V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの
授業道具、携帯、現金、カード類、留学についての書類原本とコピー、衣服、タオル、足ふきマット、下痢止め、風邪総合薬、サッカー用のシューズ、サンダル、インスタント食品、整髪料、爪切りなど	
2	現地で購入したもの
シャワー用具、ヘアスプレー、衣服	
3	(自分は持っていかなかったが) 日本から持っていったら便利だと思ったもの
マフラー、手袋(冬がとてつもなく寒いです)	

VI. 留学先で困ったこと

日本のスペイン大使館の手違いで、ビザの更新をしなければいけなくなったことです。あっちのミスでも、自分で更新しなければなりません。さらにビザの更新時に必要な書類は、ビザの申請時とは全く異なるので、保険関係の書類のコピーやスペイン語で書かれた銀行の残高証明書が必要だったり集めるのが大変でした。

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

この半年という短い期間で、いい意味でも悪い意味でも、予期せぬことがたくさん起こりました。特にビザ関係や学校関係のことはどれも書類が必要になってきます。留学に行く前に、現地に持っていく書類も、持って行かない書類も、すべて事前にコピーして持っていくようにしてください。それにより、いざという事態にすぐ対応することができます。ほかにもわからないことや困ったことがあったら、留学経験のある友達や先輩に聞いてみるのが一番だと思います。

